

令和3年度

未来の学び通信



No. 1 令和3年(2021年)8月31日発行

発行：函館市教育委員会学校教育部

教育政策推進室教育政策課 Tel: 21-3523

gakko-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp



一人一台端末を活用して様々な取組が始まっています～😊

本年4月に市内の小・中学校にクロームブック（一人一台端末）が配備されました。各学校では、授業をはじめとする様々な教育活動において、クロームブックの活用が進んでおり、次のような取組が行われています。

【活用例】

- ・健康観察や朝学習での活用
- ・タイピングの練習
- ・インターネット検索による資料の収集
- ・クラスルームを使った写真や資料を手元で見ながらの授業
- ・クラスルームやジャムボードを使った意見交換
- ・グーグルミートを使った他の児童生徒や、他校との交流
- ・グーグルミートを使った集会



ギガスクールサポーターが、定期的に各学校へ訪問しています。クロームブックの活用で困ったことがありましたら相談してみてください。

また、今年度は、弥生小、あさひ小、千代田小、大森浜小、駒場小、湯川小、桔梗小、北昭和小、北中、椴法華中の10校が、「一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業」のモニター校になっています。各学校の取組状況を随時紹介していきたいと考えています。



子どもたちの健康にご留意を！😊

クロームブックを使っている子どもたちに、姿勢の悪い子はいませんか？

文部科学省では、一人一台端末の使用に関わり以下のとおり配慮事項を示していますので、参考にしてください。



- ・端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机といすの高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を30cm以上離すようにすること。
- ・長時間にわたって継続して画面を見ないよう、30分に1回は、20秒以上、画面から目を離して、遠くを見るなどして目を休めることとし、端末を見続ける一度の学習活動が長ならないようにすること。
- ・画面の反射や画面への映り込みを防止するために、画面の角度や明るさを調整すること。
- ・部屋の明るさに合わせて、端末の明るさを調整すること（一般には、夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ（輝度）を下げる）。
- ・睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され寝つきが悪くなることから、就寝1時間前からはICT機器の利用を控えるようにすること。このため、教師が家庭学習を課す際にも、平日夜に長時間のICT機器利用につながることとならないよう、家庭学習の課し方に工夫・配慮すること。～「GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な活用等について」別添（文科省通知）から一部抜粋～



「健康面への留意」という視点は、教師だけではなく、児童生徒、保護者も認識することが大切です。

学校だけではなく、家庭でもPCを使っている子が多くなってきていると思いますので、機会を通じて共通理解を図りたいですね。